

イ. 地元産業界等と連携した実践的なPBL授業

※PBL (Project Based-Learning) : 課題解決型学習

【令和6年度】

授業科目名	総合演習A
地域の課題テーマ	地域住民への食育指導の提供
連携先の組織名称	東彼杵町こども健康課健康増進係
授業の実施学科・ コース	地域共生学科 食物栄養コース
授業担当教員	地域共生学科 食物栄養コース 西田江里
授業の単位数・ 開講年次・時期	1 単位 2 年
授業の開講目的	地域社会に必要とされる栄養士の在り方を理解するため、地域の課題を踏まえた食育に関するボランティア活動の企画立案を行い、実施する。活動の中で自身の学修内容の不足に気づき、栄養士に必要な知識や技能について考える機会とする。
授業の具体的な内容	<p>総合演習Aにおいて、地域の課題を検討する機会として、令和6年6月4日に東彼杵町管理栄養士より食物栄養コース2年生に対し講話を行った。その後学生7名が東彼杵町の課題改善のための取り組みに参加した。東彼杵町における栄養食生活面での課題は以下の3点であった。</p> <p>①「妊娠直前の肥満（BMI25以上）の割合」が増加傾向 ②野菜摂取が235.7gと少なく、特に子育て世代である20・30・40代女性の野菜摂取量が少ない傾向（長崎県令和3年度調査結果）。 ③コロナ禍で幼児健診での食生活に関する集団指導や子育て世代向けの料理教室が未実施</p> <p>これらを踏まえて、「子育て世代を対象とした幼児食に関する活動」を学生主体で企画し、令和6年8月22日に東彼杵町総合会館にて「作って食べよう 野菜たっぷり子どもごはん」を実施した。当日はボランティアとして料理教室に食物栄養コース1年3名、託児に保育学科1年生3名も参加した。参加者は大人7名、小学生9名、乳幼児5名であり、野菜摂取を促すための講話と野菜を使った料理の調理実習を行った。</p> <p>終了後のアンケート結果より、すべての参加者から「参加してよかった」「これまでよりも野菜を食べよう（食べさせよう）と思う」と回答があり、活動の効果が見られた。</p>
シラバス	